

第10回 サービス・ラーニング全国フォーラム

日本における“クリティカル・サービス・ラーニング”の可能性 —社会変革に向けた一步を踏み出す「対話」を共に—

2026年5月17日（日）

於：桜美林大学新宿キャンパス

主催：日本サービス・ラーニング・ネットワーク

Japan Service-Learning Network (JSLN)

HP: <https://www.jsln.org>

世界的な民主主義の危機や深まる分断、不可視化される格差、気候変動や人口減少、共生の課題が山積する一方で、AIによる効率化と生産性の追求が加速しています。2026年、私たちを取り巻く環境は大きな転換期を迎え、複雑な課題に直面しています。こうした時代において、大学や学校が地域と連携して学ぶ「サービス・ラーニング (Service-Learning, SL)」の役割は、より重要性を増していると考えられます。

第10回目を迎える今回の全国フォーラムでは、これまで積み重ねられてきたSL実践や地域との連携活動を大切に受け止めながら、その一歩先にある「問い」を参加者の皆さんと共に深めていきたいと考えています。たとえば、私たちの関わる活動は、表面的な「支援」や「体験」に留まっただけではないでしょうか。少し立ち止まって、これまでの取り組みをじっくり捉え直してみませんか。

- 「社会の仕組み」を問う：
目の前の困りごとは、なぜ起きているのか。その背景にある社会の構造や制度を、教室と現場を行き来しながらいかに探究できるか。
- 「共につくる、連携のあり方」を問う：
「助ける側・助けられる側」という固定的な関係を超え、地域の方々と対等なパートナーとして、共に社会を形作るための権限や役割をいかに分かち合えるか。
- 「本物の関係性」を問う：
形式的な交流に留まらず、時には意見の食い違いや「特権」による難しさを認め合いながらも、本音で響き合える関係性をいかに築けるか。

こうした「クリティカルな視点」を持つことは、これまでの実践の価値や課題を捉え直し、学びをより豊かで本質的なものへと深化させるための「レンズ」を手に入れることにつながるでしょう。

午後は、第1分科会で「初等中等教育における実践研究」を、第2分科会では「私にとってのクリティカル・サービスラーニング的視点」をテーマに、実践・研究発表の場を用意しています。そして、プログラムの最後には、参加者がSLに関わる根源的な問い（例えば、SLにおける「学び」とは何か。何のためのSLか。等）に対して、共に探究する「哲学対話」を実践します。AIが即時的な答えを出す時代に、あえてそれぞれの経験と理解を手がかりに問い続け、対話を育むプロセスを通して、SLの営みが持つ真の可能性を共に問い直してみませんか。

これまでのSL実践の経験の有無にかかわらず、このフォーラムが、参加者のみなさまにとって、日々の実践や研究を新しい目で見つめ直す機会となり、そして社会を変革する一步を共に踏み出すための「対話の広場」となることを願っています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【参加者へのご案内】

1. 全国フォーラムの概要

大会テーマ：日本における“クリティカル・サービス・ラーニング”の可能性
—社会変革に向けた一歩を踏み出す「対話」を共に—

日程：2026年5月17日(日)

- 午前 9:30 受付開始
- 午前 10:00～12:00 開会・シンポジウム
- お昼休憩 12:00-13:15 (JSLN 総会 12:05-12:30 @J304)
- 午後 13:15～17:00 分科会・哲学対話セッション

(注)分科会の開始時刻が運営の関係で13:15となりました。ご了承ください。

場所：桜美林大学新宿キャンパス本館(東京都新宿区百人町3丁目23-1)

- アクセス：<https://www.obirin.ac.jp/access/shinjuku/> (JR新大久保駅より徒歩8分)
- キャンパス360°パノラマ：<https://tourmkr.com/F1meYvKxcD/31063887p&262.56h&94.04t>
- 教室：午前(J304, J305)、午後(J304, J305, J201-J205)

2. ご参加について

事前申し込みをされた方は、受付にてその旨をお伝えください。受付で確認できましたら、領収書とネームホルダーをお渡しします。午後の「哲学対話セッション」参加予定の皆様は、対話の際に使用する「Pネーム」のカードも併せてお渡しします。

お申し込み時に、「午前のシンポジウムのみ」または「分科会まで」ご参加予定とされた方の中で、ご予定に変更があり、当日「哲学対話セッション」へのご参加をご希望の場合は、受付までお申し出頂ければ、「哲学対話セッション」にご参加頂けます。ご遠慮なく、ご相談ください。

3. 昼食

当日学内のカフェテリアは営業していません。各自ご用意・持参下さい。
キャンパス近辺のコンビニエンスストア等で購入可能です。

4. インターネット環境

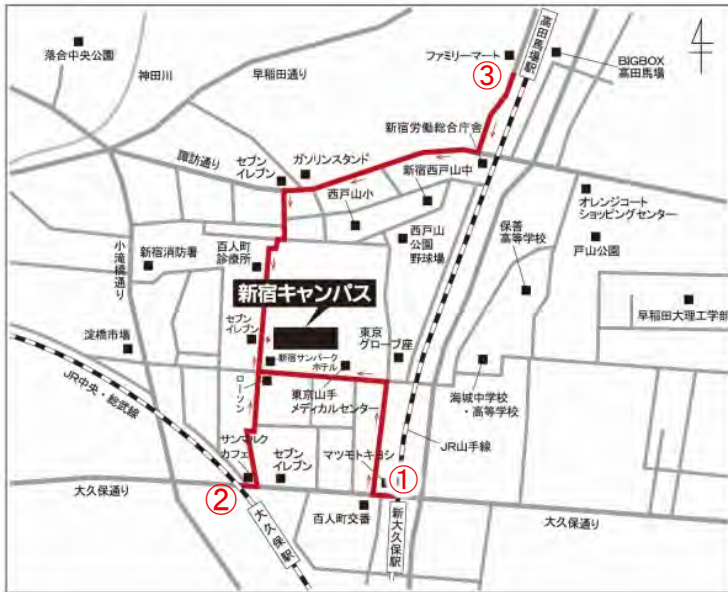
構内では、Wi-Fiをご利用いただけます。接続方法については、大会当日にお知らせします。

5. 喫煙スペース

構内には喫煙スペースがございません。ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【会場までのアクセス・避難経路】

- ① 新大久保駅 (JR 山手線) 下車・・・JR 新大久保駅より徒歩 8 分
- ② 大久保駅 (JR 中央・総武線) 下車・・・JR 大久保駅 北口より徒歩 6 分
- ③ 高田馬場駅 (JR 山手線・西武新宿線・地下鉄東西線) 下車・・・JR 高田馬場駅 戸山口より徒歩 13 分



新宿キャンパス一次避難経路



- ・ 創新館本館の南側から出る
- ・ 南館の北側からでて東側に進む

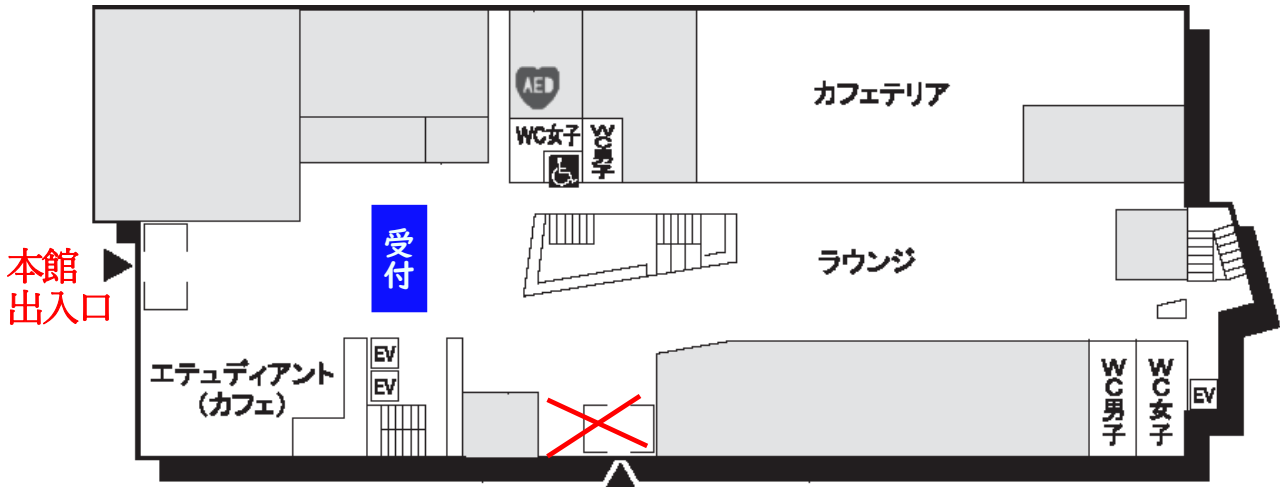
新宿キャンパス二次避難経路



→ 二次避難経路 (避難場所: 西戸山小学校)

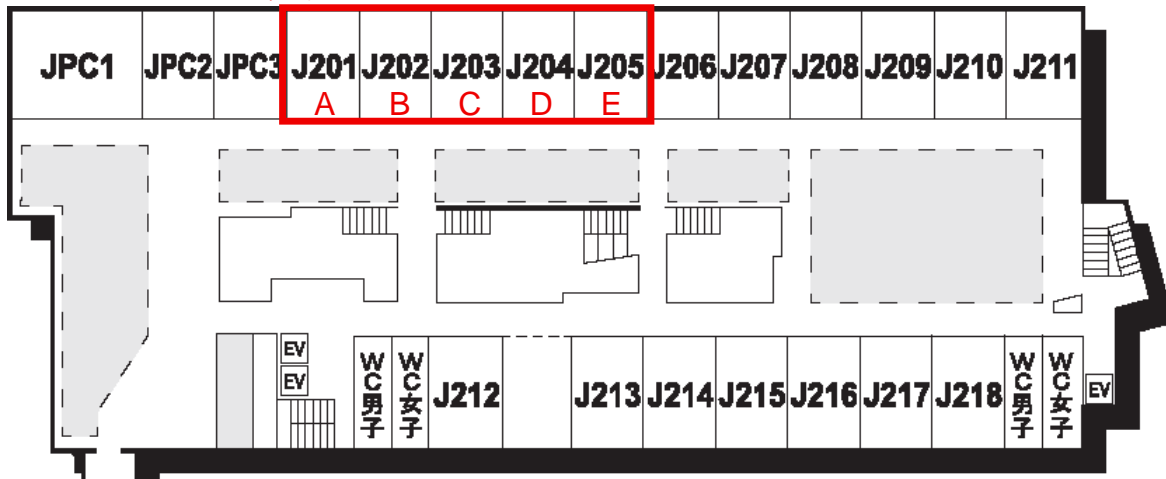
【会場案内図】

〈1階〉

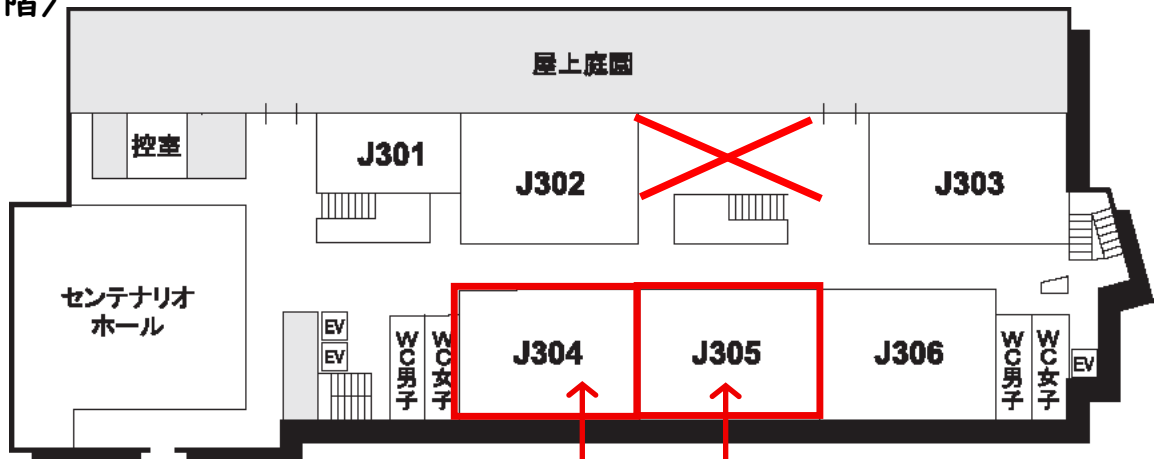


〈2階〉

【J201-J205 会場】
哲学対話セッション・グループ A~E



〈3階〉



【J304 会場】 シンポジウム・総会
第2分科会・哲学対話セッション F, G, H

【J305 会場】 第1分科会
哲学対話セッション I, J

【プログラム】

09:30 | 《受付開始》

- 場所：1階エントランスホール

10:00 - 10:10 | 《開会》

- 教室：J304
- JSLN 代表挨拶：唐木 清志（筑波大学）
- 開催校挨拶：山口 有次（桜美林大学副学長）
- 全体司会：山下 美樹（麗澤大学）

10:10 - 10:30 | 《趣旨説明》

- 教室：J304
- 解説者：黒沼 敦子（国際基督教大学）

10:30 - 12:00 | 《シンポジウム》

- 教室：J304
- テーマ：日本における“クリティカル・サービス・ラーニング”の可能性
—社会変革に向けた一歩を踏み出す「対話」を共に—
- 発表：
 1. 「大学での教員養成におけるクリティカル・サービス・ラーニングの挑戦」
登壇者：杉原 真晃（聖心女子大学）
 2. 「『慈善／正義』の枠組みを越えて —地域日本語教室におけるサービス・ラーニングで立ち上がる学生の学び—」
登壇者：北出 慶子（立命館大学）
- 司会：黒沼 敦子（国際基督教大学）、指定討論者：山田 一隆（東海大学）

12:00 - 13:15 | 休憩（JSLN 総会 12:05-12:30 @J304）

13:15 - 15:00 | 《分科会》

第1分科会：初等中等教育における実践・研究

- 教室：J305
- 発表：
 1. 「変革型サービス・ラーニングのカリキュラム開発」
発表者：松本 武（立川市立第一小学校）
 2. 「中学校社会科における外部人材活用による社会変革意識向上の可能性 —地域学習を通して—」
発表者：歌津 文也（船橋市立湊中学校）
 3. 「前期中等教育段階におけるサービス・ラーニング導入の実践と生徒・教師の変容」
発表者：笠原 直人・有賀 早也香・高松 森一郎（ぐんま国際アカデミー中高等部）

4. 「常総市立水海道中学校(夜間学級)における地域連携に基づく教育活動の展開」
発表者: 井上 里鶴(麗澤大学)・櫻井 和子(常総市立水海道中学校 夜間学級)

司会: 唐木 清志(筑波大学)、石筒 覚(高知大学)

第2分科会: 私のクリティカル・サービス・ラーニング的視点

- 教室: J304
- 発表:
 1. 「多言語生徒のすべてのことばの力が輝く授業をめざして—みんなが生きやすい街づくりの提案—」
発表者: 甲田 菜津美(大阪府立大阪わかば高等学校)
 2. 「外部者の関与は何を変えるのか—茨木市北部地域での授業実践を手がかりにした関係性の再編と学びの問い直し—」
発表者: 秋吉 恵(立命館大学)
 3. 発表内容に関わるテーマで参加者によるグループディスカッション

司会: 川田 麻記(桜美林大学)

15:00 - 15:15 | 休憩

15:15 - 16:45 | 《哲学対話セッション —属性を超えた対話の実践—》

15:15 - 15:30 | 《趣旨・実施方法についての説明》 J304 & J305

15:30 - 15:35 | 《移動》

15:35 - 16:45 | 《哲学対話の実践》

- 教室:

グループ	教室	グループ	教室
A	J201	F	J305
B	J202	G	J305
C	J203	H	J304
D	J204	I	J304
E	J205	J	J304

- セッション概要:

フォーラムの締めくくりとして、参加者が共に一つの問いに向き合う「哲学対話」を実践します。答えや結論を急がず、対話を通じて自らの前提や視点を省察的に問い直し、視野を広げるプロセスそのものを大切にします。シンポジウム、分科会での気づきを糧に、正解のない問いについてさらに問い合い、異なる立場の参加者との対話の中で、SL(サービス・ラーニング)の営みが持つ真の可能性を捉え直します。今後の活動に向けたそれぞれのヒントを持ち帰ることを目指します。

〈問い〉

- Service-Learning における「学び」とは?
- Service-Learning における「サービス」とは?
- なぜ(なんのために)、Service-Learning をするのか?
- Service-Learning で取り組む社会課題は、どうすれば「自分ごと」になる?

16:45 - 17:00 | 《閉会》

17:30 - 19:30 | 《情報交換会》

【参加費納入方法】

【フォーラム参加費、情報交換会費の納入方法】

JSLN 会員/桜美林大学ご関係者

- ・フォーラムのみ参加 無料
- ・フォーラムと情報交換会の両方に参加 5,000 円

一般(非会員)

- ・フォーラムのみ参加 3,000 円
- ・フォーラムと情報交換会の両方に参加 8,000 円

大学生・大学院生

- ・フォーラムのみ参加 無料
- ・フォーラムと情報交換会の両方に参加 5,000 円

※ご入金後の返金は致しかねます。ご了承ください。

なお、申込メ切日の5月8日(金)までに参加費のお振込みをお願いいたします。

問合せ先: JSLN 事務局 (japanslnetwork@gmail.com)

【参加費・情報交換会費 お振込み先】

- ・ 銀行名: ゆうちょ銀行
- ・ 店名: 〇一八(読み ゼロイチハチ)
- ・ 店番: 〇18
- ・ 預金種目: 普通預金
- ・ 口座番号: 7264312
- ・ 口座名: 日本サービス・ラーニング・ネットワーク

※ 恐れ入りますが、振込手数料をご負担願います。領収書は全国フォーラム当日お渡しいたします。